

パッチ・アダムス (Patch Adams)

観賞日 2026年2月9日 上映時間 115分

【概要】

制作 1998年 アメリカ

監督 トム・シャドヤック

脚本 スティーブ・オーデカーク

音楽 マーク・シャイマン

撮影 フェドン・パパマイケル

出演 ロビン・ウィリアムズ (パッチ・アダムス)、ダニエル・ロンドン (トルーマン・シフ)
モニカ・ポッター (カリン・フィッシャー)、ボブ・ガントン (ウォルコット学部長)
フィリップ・シーモア・ホフマン (ミッチー・カーマン)



【あらすじ】

1969年、ハンター・アダムス (パッチ) は自殺未遂で精神病院に入院する。そこで、彼は患者の方を真剣に見ようとし、ない病院の態度に憤慨し、自ら医師になって患者を救おうと決意する。2年後、ヴァージニア医科大学に入学したパッチはそこでも旧態依然の大学の体質に反発し、患者に寄り添い、笑いによって患者の苦痛を取り除くことを実践するが、ウォルコット学部長とことごとく対立する。パッチの夢は、患者本位の無料クリニックを開設すること。親友のトルーマンや恋人のカリンが協力する。クリニックの仕事も軌道に乗ってきたころ、パッチに突然の不幸が襲う。将来を誓い合ったカリンが殺されたのだ。落ち込むパッチに、さらに追い打ちをかけるかのように、犬猿の仲の学部長から退学の命令が伝えられる。その時、絶体絶命のパッチを救ったのは・・・。

実在した医師の半生を描いた感動作。主人公を演じたロビン・ウィリアムズの熱演が光る。

【解説】

■ポイント

●ロビン・ウィリアムズ (1951年～2014年)

シカゴ生まれの映画俳優。父親はフォード社の重役。ジュリアード音楽院演劇科で学ぶ。77年に映画界入り。80年「ポパイ」で初主演。「グッド・ウィル・ハンティング/旅立ち」(98年)で念願のアカデミー賞助演男優賞を受賞。ゴールデン・グローブ賞は6回受賞。チャリティ活動に熱心で、自身もアルコール依存症、薬物依存症に苦しんだ。



●パッチ・アダムスの名言集

- ・「他人が見ようとし、ないものを見るんだ。そうすれば新しいものが見えてくる」(アーサー)
- ・「死を遠ざけるのではなくて、生を高めるのが医者(パッチ)の務め」(パッチ)
- ・「あなた方は卒業を阻み、私から免許と白衣を奪うことができる。でも、学ぼうとする魂は奪うことができない」(パッチ)

■見どころ

- 最愛のカリンをなくし失意のパッチを救ったものは
- 卒業式で見たパッチらしいおふざけ衣装